

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 12 月 13 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/13 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.8 m ³ /h	21.6 °C	105.7 kPa abs	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.07 vol%
2 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.4 m ³ /h	30.2 °C	9.65 kPa g	A系： 0.07 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.08 vol%
3 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 0.0 m ³ /h	29.6 °C	0.23 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 5.4 m ³ /h			B系： 0.10 vol%

*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (12/13 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1 号機	循環冷却システム	運転中	15.5 °C
2 号機	循環冷却システム	運転中	14.2 °C
3 号機	循環冷却システム	運転中	12.1 °C
4 号機	循環冷却システム	運転中	19.1 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
3 号機	3 号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 (プロセス主建屋)	12/12 17:45 ～ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (12/13 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	運転中	停止中	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*

* 当面は、3 系列のうち 2 系列による運転を実施することで 2 系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3 系列の同時運転を実施予定。なお、A 系については、11/29 12:40 から腐食対策有効性確認のために運転を停止中。

C 系については、制御系の改造工事を行うため、12/10 7:30 に停止。12/13 から運転再開予定。

B 系についても、制御系の改造工事を行うため、12/11 9:50 停止。12/13 から運転再開予定。なお、B 系については、本年 12 月下旬頃 (予定) に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/12/12 7:31 第二セシウム吸着装置 (サリー) について流量計交換工事を行うため装置を停止。12/18、当該装置を運転再開予定。なお、12/16～12/17 に当該装置の電源盤の点検を行う予定であり、点検にあたり 12/16 に当該装置の電源を停止するが、同電源の負荷であるサプレッションプール水サージタンク (B) の水位計も電源が停止するため、水位監視ができなくなる。そのため当該水位計の電源切り替えが完了するまでの間 (2 時間程度)、セシウム吸着装置を停止する予定。

< 5. その他 >

- ・H25/11/8 8:15 頃、5・6号機北側雑固体廃棄物焼却設備建設現場において、ユニック車へ燃料(軽油)を給油する際に、給油ノズルを装着せずに給油バルブを開けたことから、軽油を敷き鉄板上に約3リットル漏らした。8:50に双葉消防本部へ連絡。漏らした軽油は中和剤散布・吸着材による拭き取りを行い、11:28に処理完了。その後の調査により、作業改善を目的にタンクローリー車の設備の一部(給油ホース)を改造したことが一因であることが判明。なお、本改造については、消防法違反が疑われたことから、その内容について所轄の双葉消防本部に報告した結果、消防法に基づく違反(無許可変更)であると判断され、施設(タンクローリー車)の使用停止命令を受領(12/3付)。今後、速やかに是正処置を行う予定。
- ・H25/12/13 海側遮水壁工事において資機材搬入を行うため、1～4号機取水口付近に設置したシルトフェンスの開閉を9:27～9:45および11:10～11:25の2回実施。
H25/12/16 同作業のため、1～4号機取水口付近に設置したシルトフェンスの開閉を2回実施予定。
- ・H25/11/28 3号機使用済燃料プール内にある大型瓦礫を撤去するための準備作業として同プール内に設置したオイルフェンスの設置状況を固定式監視装置(カメラ)にて確認。当該作業が終了したことから、同装置のカメラを引き上げたところ、同日11:07頃、南西側のカメラが過巻き上げ状態になり、カメラケーブルが切れ当該カメラ本体が水中に落下した。当該カメラの重量(約5.5kg)から、カメラ落下に伴う燃料の損傷等は無いと考えている。
H25/12/16 水中カメラにて使用済燃料プール内を確認したところ、南西側の鉄筋瓦礫に落下したカメラヘッド部が引っかかった状態にあり、下側には多数の瓦礫が堆積していることを確認した。なお、落下したカメラヘッド部については、鉄筋瓦礫とあわせて回収・撤去する。その後、12/7予備の固定式監視装置を設置し、準備が整ったため、12/16から3号機使用済燃料プール内のガレキ撤去を開始する予定。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<タンクエリアパトロール実績(12/12)>

- ・高線量当量率箇所(β+γ線(70μm線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・サーモグラフィーによる水位確認(前回撮影分の分析結果)については、前日の雨の影響により撮影できなかったため、実施していない。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。
- ・12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウエルポイントから地下水の汲み上げを再開。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1, 2号機取水口間のウエルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は12/13 0:00時点で約6,327m³ *集水ピット(南)およびウエルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<移送関係>

- ・H25/12/3 15:35 2, 3号機東側に設置したウエルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げ、2号機タービン建屋への移送について移送開始。移送状況については漏えい等、異常のないことを確認。12/8 10:26 ウエルポイントからの汲み上げを停止。今後計画的に移送を実施。地下水の放射能濃度に変化が見られなかったことから、汲み上げ量を増やし、12/10から3日間、再度試験的な汲み上げを実施。
- ・H25/12/10 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔No. 1-16の放射能濃度が上昇傾向にあることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に実施中。
- ・H25/12/11 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔No. 0-3-2でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- H25/10/3～ 地下貯水槽 No. 1 の汚染範囲調査開始。
- H25/10/23～ 地下貯水槽 No. 6 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/15～ 地下貯水槽 No. 5 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/19～ 地下貯水槽 No. 1 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/28～ 地下貯水槽 No. 3 において浮き上がり対策を実施中。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上